

横須賀モデルの祭典開催基準等の検証実験について（報告）

日 時 令和2年12月27日（日） 8：00～11：00

場 所 掛川市大須賀中央公民館駐車場

内 容

横須賀地区祭典取締会で策定中の祭典開催基準と留意事項を検証する目的で、基準に沿って実際に柵里を曳き、問題点などを洗い出す。

柵里の曳き回しは川原町が行い、13町の祭典関係者や地域住民などが見学した。

試し曳きの様子は録画されており、後日Y o u t u b eで配信する予定とのこと。



参加者は10日前からWebで健康チェックと行動履歴の記録を実施。

祭典参加希望者には、検温、手指消毒、各種基準チェック、などを経て、運営側からリストバンドを発行する。





枠に入る人数を減らし、ロープは1 mの間隔を開けて曳き回しができるかを検証。



笛吹きは専用の飛沫ガードを着用し、実際に笛を吹くことができるかを検証。



フェイスシールドを付けての試し曳き。激しく動いてみて、シールドがずれないかも検証。



発熱者が出た場合など、いくつかの想定トラブルについても対処方法をシミュレーション。写真は外国の方（言葉の通じない方）が突然参加してきた場合の対応を検証中。



当日、会場に掲示された解説版。祭典参加の手順や試し曳きで使用する物品などが紹介されている。



当日掲げられた横断幕